

第 50 回国語分科会国語課題小委員会（Web 開催）・議事録

令和 4 年 5 月 10 日（火）
11 時 30 分～11 時 50 分
旧文部省庁舎 2 階・文化庁特別会議室

〔出席者〕

（委員）沖森主査、森山副主査、川瀬、西條、滝浦、田中、中江、成川、
福田、古田、前田、村上、善本各委員（計 13 名）
（文部科学省・文化庁）圓入国語課長、武田主任国語調査官、堀国語課長補佐、
鈴木国語調査官、町田国語調査官ほか関係官

※ 事務局は、文化庁特別会議室にて参加。

〔配布資料〕

- 1 小委員会の設置について
- 2 文化審議会国語分科会国語課題小委員会委員名簿
- 3 文化審議会国語分科会国語課題小委員会の会議の公開について（案）
- 4 国語課題小委員会（22 期）における審議内容（案）

〔参考資料〕

- 1 文化審議会国語分科会運営規則
- 2 文化審議会国語分科会の会議の公開について
- 3 国語に関するコミュニケーション上の課題（国語課題小委員会における審議経過の整理）（令和 4 年 3 月 8 日 文化審議会国語分科会）

〔経過概要〕

- 1 今期第 1 回の国語課題小委員会の開催に当たり、堀国語課長補佐から挨拶があった。
- 2 事務局から配布資料の確認が行われた。
- 3 事務局から配布資料 2 に基づいて国語課題小委員会に分属することになった委員の紹介があった後、参考資料 1 「文化審議会国語分科会運営規則」に基づき、委員の互選により、沖森委員が国語課題小委員主査に選出された。
- 4 参考資料 1 「文化審議会国語分科会運営規則」に基づき、沖森主査により、森山委員が副主査に指名された。
- 5 事務局から配布資料 3 「文化審議会国語分科会国語課題小委員会の会議の公開について（案）」の説明があり、国語課題小委員会の会議を公開することが了承された。
- 6 事務局から配布資料 4 「国語課題小委員会(21 期)における審議内容について(案)」の説明があり、今期の審議事項や進め方等について確認された。
- 7 次回の国語課題小委員会について、令和 4 年 6 月 17 日（金）10 時から 12 時まで、オンラインで開催する予定であることが確認された。
- 8 質疑応答及び意見交換における各委員の発言等は次のとおりである。

○堀国語課長補佐

課長補佐の堀でございます。課長の圓入が公務のため、私から御挨拶いたします。
国語課題小委員会に、皆様、御出席いただきまして、改めてお礼を申し上げます。冒頭ではございますが、一言申し上げます。

先ほどの国語分科会でも話題になりましたとおり、前の期には、現在の国語・日本語をめぐる課題を広く御議論いただきまして、審議状況を参考資料3「国語に関するコミュニケーション上の課題（国語課題小委員会における審議経過の整理）（令和4年3月8日 文化審議会国語分科会）」としてお示しくださいました。

そして、今期の国語分科会国語課題小委員会におきましては、前の期からの整理を更に進めまして、今後5年から10年ほどの間に国語分科会で検討すべき課題を示す最終報告をお取りまとめいただければと考えております。また、既に御指摘くださった課題のうちから、早急に取り組むべきものを取り上げ、具体的な検討も開始していただきたいと考えております。

これまで、戦後の国語施策に関しては、一定の成果を見てきました。特に、昨年度に「公用文作成の考え方（建議）」が建議されましたが、とても大きな反響を頂いております。社会の変化に伴い、国語・日本語におけるコミュニケーション上の課題が新たに生じています。委員の皆様におかれましては、大変御多忙の中とは存じますが、是非精力的に御議論いただき、これからの国語・日本語について、多くの方々のためになるような課題の絞り込みと御検討をお願いしたいと思います。

令和4年度も引き続き、当面、一堂に会しての会議の開催は難しいことが予想されます。直接お目に掛かることができず、大変残念ではございますが、今後とも御指導のほど、よろしくお願い申し上げます。

○沖森主査

今年度も主査を仰せつかりまして、何とぞよろしくお願いいたします。先ほども国語分科会で御挨拶申し上げましたので、ここでは一言だけ申し添えたいと存じます。

この国語課題小委員会においては、今期は、参考資料3「国語に関するコミュニケーション上の課題（国語課題小委員会における審議経過の整理）（令和4年3月8日 文化審議会国語分科会）」にもありますように、今後取り組むべき課題について最終的な検討を加え、まとまった形で報告を出す予定でおります。また、早急に検討すべき課題には、今期から取り組むことも考えております。委員の皆様方の貴重な御意見を集約し、文化庁の方々の強力なる支援を得て、国語課題小委員会として、有益かつ実効性の高い報告をお示しするとともに、検討すべき課題にも、具体的で有意義な整理案を提示していきたいと考えております。

委員の皆様方におかれましては、今期も何とぞ本小委員会にお力添えくださいますよう、重ねてお願い申し上げます。

以上、簡単ながら、私からの御挨拶といたします。

○武田主任国語調査官

ありがとうございます。

次に、森山副主査から御挨拶をお願いいたします。

○森山副主査

森山でございます。ただ今、副主査の御指名を頂きまして、謹んでお受けしたいと思います。

沖森分科会長のお話にありましたように、高度な情報化社会でのコミュニケーションの問題、格差、分断、そして目まぐるしく変わっていく世界状況の中でのコミュニケーションの問題等、非常に大きな問題が今起きているところだと思います。その中で、今回の参考資料3「国語に関するコミュニケーション上の課題（国語課題小委員会における審議経過の整理）（令和4年3月8日 文化審議会国語分科会）」にあるような、様々な国語におけるコミュニケーション上の課題というものにしっかり取り

組んでいきたいと思ひます。

前期と同じメンバーということで、引き続き頑張っていきたいと思ひております。何とぞよろしくお願ひいたします。

○武田主任国語調査官

ありがとうございます。

それでは、ここからの議事につきましては、沖森主査にお願ひ申し上げます。

○沖森主査

それでは、配布資料3の説明を事務局にお願ひしたいと思ひます。これは、先ほどの分科会で御了承いただきました「文化審議会国語分科会の会議の公開について」に倣ったもので、国語課題小委員会の会議についても公開しようというものです。

では、事務局から説明をお願ひいたします。

○武田主任国語調査官

それでは、配布資料3「文化審議会国語分科会国語課題小委員会の会議の公開について（案）」を御覧ください。こちらは国語分科会の規程に倣ったものです。

この国語課題小委員会についても、会議は原則公開されます。ただし、主査の選任そのほか人事に係る案件に関しては非公開、またそのほか、主査が、公開することにより公平かつ中立な審議に著しい支障を及ぼすおそれがあると認める案件その他正当な理由があると認める案件については非公開となっています。

会議の公開に関しては、1週間前にこれを文化庁ホームページに予告いたします。そして、資料に関しても、現在は、確定前である議事録（案）を除き、会議の開催前に原則として全てウェブサイトで公開をしています。

以上、簡単ですが、御説明いたしました。

○沖森主査

ただ今の御説明について、御質問等あればお願ひしたいと思ひます。

（→ 挙手なし。）

特に御異議がないようなので、「文化審議会国語分科会国語課題小委員会の会議の公開について」は御承認いただいたこととします。これに従って、以降の議事については、オンライン上で公開することにいたします。

では、今期の審議事項について確認しておきたいと思ひます。今期の検討事項は二つあります。

一つ目については、前の期における検討内容を整理した参考資料3「国語に関するコミュニケーション上の課題（国語課題小委員会における審議経過の整理）」について、更に内容を深め、具体化し、今後10年ほどの間に国語分科会で検討すべき国語施策に関する課題を提案してまいりたいと思ひます。

二つ目としては、参考資料3に既に挙げられている具体的な課題について、早急に対応すべきもの一つを選び、新規の課題として、具体的な審議を始めてまいりたいと考えています。

それでは、配布資料4「国語課題小委員会（22期）における審議内容（案）」について、事務局から説明をお願ひいたします。

○武田主任国語調査官

配布資料4を御覧ください。

今、主査からお話があったとおり、今期の審議事項は、昨年引き続き、課題の整

理、そして、その課題のうちから一つ取り上げて、具体的な審議に入っていく、ということになります。

スケジュールとしては、本日が第1回ですが、7月までの予定が決まっております。次回は6月17日金曜日、その後が7月19日火曜日です。次回には、前期に続いて課題の整理についてお話しいただくとともに、今期からどのような新規課題に取り組んでいくのかといった辺りについても御議論いただきたいと思っております。そして7月には、課題の整理とともに、新規課題に関しても審議を開始していただき、9月からは、その専門的な課題に関して、ヒアリングなどを通して検討を深めていただきたいと思いますと考えております。

また、10月～11月の国語分科会と、2月～3月の国語分科会では、この国語課題小委員会での検討内容について御報告いただきたいと思っております。

簡単ですが、今期の審議内容について御説明いたしました。

○沖森主査

ありがとうございました。ただ今の御説明について、何か質問等がありましたらお願いしたいと思います。

(→ 挙手なし。)

それでは、ただ今の御説明にあったように、今後、国語を用いるコミュニケーション上の課題について、国語分科会で取り組むべき事項を絞り込む検討をしていきたいと思っております。また、それと並行して、取り組むべき課題について、早期に対応すべきものを選び、具体的な検討を課題整理と並行して行っていくこととします。どの課題を取り上げるかについては、次回の国語課題小委員会で御相談したいと考えています。

また、今期のスケジュール等は、配布資料4「国語課題小委員会(22期)における審議内容(案)」について説明のあったとおりです。本日お示ししたのものよりもう少し詳しいものを事務局で作成いただくつもりですが、おおむね配布資料4にあるような進め方で今後進めていくということによろしいでしょうか。

(→ 了承。)

御異論がないようですので、先ほど申し上げたような形で今後進めていきたいと思っております。具体的な協議については、次回から始めることとします。

本日は、時間の関係上、各委員からの御挨拶は割愛させていただきます。

以上で本日の議事は終了したいと思います。

最後に、事務局から連絡があれば、お願いします。

○武田主任国語調査官

次回の国語課題小委員会は、先ほど配布資料4に示したとおり、6月17日(金)、10時から12時で開催します。今回と同様にオンラインの会議となると考えられますので、どうぞよろしく願いいたします。

なお、文部科学省と文化庁ではペーパーレスを推進しておりまして、印刷した資料の送付ということは、できるだけ今期から行わないということと考えております。もちろん、個別の対応はいたしますので、印刷した資料が必要であるという方がいらっしゃいましたら、おっしゃっていただければと思います。

○沖森主査

本日の議事はこれで終了ということになりますので、今期第1回の文化審議会国語分科会国語課題小委員会をこれにて終了いたします。本日は、御多忙の中、御出席くださり、誠にありがとうございました。